

2017.12.21 教授会議事要旨

赤門総合研究棟 5階センター会議室

開 会：13時00分

閉 会：14時30分

出 席：34名

前回教授会（2017.11.16）議事要旨は、確認の上、原案どおり了承された。

通知報告事項

1) 所内事情

所長から、別紙1に基づき客員研究員について報告があった。

2) 所外関係

所長から、前回教授会以降の全学及び学外、学内の情勢について報告があった。

3) 所内関係

所長から、前回教授会以降の所内情勢について報告があった。

① 諸報告

a. 世界社会科学フォーラム（2018年9月25-28日、福岡）

所長から、標記フォーラムについて説明があった。

b. 第11回社会科学研究所諮問委員会（2018年3月14日（水）15時～17時、第2会議室）

所長から、今年度の諮問委員会の開催について説明があった。

c. 平成29年度東京大学卓越研究員の採用

所長から、今年度の所員の卓越研究員の採用について説明があった。

d. 平成30年度第2次配分等ヒアリング（2018年2月5日（月）午前）

所長から、標記ヒアリングについて説明があった。

②海外出張〔報告・変更・取消〕〔別紙2〕

所長から、別紙2のとおり報告があった。

各委員会の報告

1) 予算委員会

委員長から12月7日に委員会を開催し補正予算について議論を行ったとの報告があった。

2) 研究戦略委員会

副委員長から拠点の国際化について報告があった。

3) 研究倫理審査委員会

委員長1月23日に委員会を開催する予定であるとの報告があった。

4) 全所的プロジェクト研究運営委員会

委員長から以下5点について報告があった。

①12月21日 危機対応学の成果本について第一回のグループ討議を開催した。

②11月25日 危機対応学プロジェクト・社会調査班は、岩手県釜石市にて公開ワークショップを開催し、全国調査「将来に向けた防災意識・行動・価値観調査」の中間報告を行った。

③②の全国調査の分析についての研究所の刊行企画が固まった。来年9月に刊行予定、題名は「危機対応学 ー明日の災害に備えるために」である。

④12月の危機対応学ワークショップ「トランプ現象はどのように説明できるのか」を開催。講師は危機対応学の国際研究班のメンバーでもある西川賢氏（津田塾大学）。約30名の参加を得た。

⑤総合文化研究科より、来年度に設置申請が予定されている「東京大学・連携研究機構・地域未来社会研究拠点」への連携部局としての参加打診があり、危機対応研究センターが担当することで、社会科学研究所が連携部局として名を連ねることになった。

5) 図書委員会〔資料5〕

委員長から高額図書の購入及び資料5のとおり総合図書館の耐震改修工事について報告があった。

6) 新図書館に係る検討委員会〔資料6〕

委員長から資料6のとおりアジア研究図書館規則が正式に定まったことについて報告があった。

7) 情報システム委員会

委員長から以下4点について報告があった。

①12月2日～4日に起きたネットワークトラブルについて

②ウィンドウズ10のアップデートについて

③年末年始におけるシステム管理室の閉室について

④客員研究員のメールアカウントについて

8) センター運営委員会〔資料7〕

担当委員から、資料7に基づき、調査基盤分野、社会調査分野、計量社会分野、国際調査分野について報告があった。

9) 現代中国研究拠点運営委員会

委員長から12月24日に駒場キャンパスでセミナーを開催するとの報告があった。

10) 紀要編集委員会

委員長からリサーチシリーズについて1本空きがあるので希望者はご連絡いただきたいとの報告があった。

11) SSJJ 編集委員会

委員長から教員の公募について報告があった。

12) 広報委員会

副委員長から社研のウェブサイトのリニューアルについて報告があった。

13) その他の所内委員会

なし

14) 全学委員会

なし

協議事項A

1) 客員研究員の受入

所長から3件の提案があり承認された。

2) 客員研究員の期間変更・取消・修正等

所長から3件の提案があり承認された。

3) 学外委員等の委嘱〔資料8〕

所長から、資料8のとおり提案があり、承認された。

4) 奨学寄附金 なし

5) 共同研究の受入〔資料9〕

所長から、資料9のとおり提案があり承認された。

6) 受託研究の受入 なし

7) 各種研究員の受入・期間変更

所長から2件の提案があり承認された

8) その他 なし

協議事項B

協議事項C

協議事項D

その他

雑件

- ・忘年会 12月21日(木) 教授会後(17時30分から) 社研本館第2会議室

次回教授会までの予定

所長から次回教授会までの行事予定について説明があった。